

国語

第2学年

育成を目指す資質・能力【「基礎・基本」の力】【思考力・表現力・対応力】【高い志とチャレンジ精神】

単元名

「モアイは語るー地球の未来」 ～人類が生き延びる道～

1 日 時 令和5年10月11日(水) 第5校時 13:40～14:30

2 学年・学級 第2学年A組 (男子12名, 女子14名 計26名)

3 場 所 2年A組

4 単元の目標

- 意見と根拠, 具体と抽象など心情と心情との関係について理解することができる。【情報(2)ア】
- 文章の構成や論理の展開について考えることができる【C読む(1)エ】
- 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け, 自分の考えを広げたり深めたりすることができる。【C読む(1)オ】
- 言葉が持つ価値を認識するとともに, 読書を生活に役立て, 我が国の言語文化を大切にして, 思いや考えを伝え合おうとする。【学びに向かう力, 人間性】

5 単元設定の理由について

(1) 単元観

本単元は, 中学校学習指導要領国語編第2学年の学習内容〔知識及び技能〕(2)情報の扱い方に関する事項ア「意見と根拠, 具体と抽象など情報と情報との関係について理解すること」, [思考力, 判断力, 表現力] C読むこと(1)エ「観点を明確にして文章を比較するなどし, 文章の構成や論理の展開, 表現の効果について考えること」を受けて設定した。

本教材は, 序論で4つの問いを示し, 本論で一つ一つそれらに答えると同時にそれぞれの答えの根拠を示し, 結論でモアイやイースター島の問題を地球の問題に広げ, 自らの主張を述べるという構成になっている。イースター島における文明の象徴であったモアイが, 実は森を消滅させ, 文明を滅ぼすものの象徴でもあったという文章の内容は生徒にとっても衝撃的であろう。イースター島での出来事が, 人類や地球の未来への警鐘とする筆者の主張には独自性があり, 筆者の主張をきっかけに生徒一人ひとりが考える「人類の生き延びる道」についての意見文の作成へと繋げたい。問いに対する答え(筆者の意見)を裏づけるために, 化石人骨の分析などの客観的な事実を根拠にしていることを読み取り, 筆者の文章の構成を参考にすることで, 自分の知識や経験と結び付けて考えをまとめる文章を作成する際に役立つと考えられる。

(2) 生徒観

4月に実施した標準学力調査の結果より, 「情報の扱い方」(全国平均との比較+1.0)以外の領域において, 全国平均を下回っている。特に, 「読むこと」の領域, 大問4「説明的な文章の内容

を読み取る」問題(本校2年生の正答率 54.6%)では、自治体平均との差(−8.6%)や、全国平均との差(−8.2%)が他より大きかった。詳細については、次の表のとおりである。

問題番号	出題のねらい	本校正答率 (%)	全国平均 (%)	全国平均との差 (P)
4(1)	文章の内容について叙述を基に捉えている。(説明的な文章の内容を読み取る)	56.9	65.7	−8.8
4(2)	文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えている。(説明的な文章の内容を読み取る)	51.0	57.7	−6.7
4(3)	情報と情報との関係について理解し、必要な情報に着目して、内容を解釈している。(説明的な文章の内容を読み取る)	31.4	42.4	−11.0

また、年度当初に実施した生徒アンケートでは、「物語は好きだが、説明文は苦手。」「段落の繋がりがよく分からない。」という意見があり、一方で「テストでもっと答えられるようになりたい。」「説明文が読めるようになりたい。」という記述も見られた。一学期に実施した中間・期末試験でも、説明文の問題は、詩や古文の問題よりも正答率が低く、特に複数の情報を読み取り、条件に合わせて文章を再構成する記述式の設問の解答率も約 40%で低かった。

(3) 指導観

本単元は、文章の構成や根拠の示し方などに注意して筆者の主張を読み取ることを通して、生徒自身の体験や知識と比較しながら地球の未来について考えさせることができる。イースター島での出来事(悲劇)のような事実を根拠として示された筆者の意見をきっかけに、「人類が生き延びるためにどのようなことが必要なのか」「自分達は今、何をすべきなのか」等、学習の最後には、生徒自身の思いを意見文としてまとめさせたい。その際、生徒が示す意見が、独りよがりなものになってしまわないように、「読み手が納得する」「説得力がある」意見の根拠となる事実をどのように示すことが有効なのかを吟味する視点を、筆者の文章から学ばせたい。

6 単元(題材)の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○意見と根拠、具体と抽象など心情と心情との関係について理解している。	○「読むこと」において、文章の構成や論理の展開について考えている。 ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。	○粘り強く論理の展開について考え、学習の見通しをもて筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめようとしている。

7 単元の指導と評価の計画(全 6 時間)

学習活動	評 価			評価規準	評価方法	つきたい 資質能力
	知 技	思 表	主 体 的			

<p>○課題の設定（1時間）</p> <p>①題名から内容を予想する。</p> <p>②学習の見通しを持つ。</p> <p>③全文を通読する。</p> <p>④文章を読んだ感想を書き留める。</p> <p>⑤文章の構成を捉える。 →文章全体を序論・本論・結論に分ける。</p> <p>⑥まとめ・振り返り</p>	○	◎	<p>○説明文の構成を思い出し、序論・本論・結論に分けることができている。</p> <p>◎自分の意見（序論・本論・結論の境界線等）について、その理由も合わせて説明しようとしている。</p>	<p>行動観察 ノート 評価問題</p>	<p>「基礎・基本」の力 思考力・表現力・対応力</p>
<p>○情報の収集（2時間）</p> <p>①前時の学習内容を確認し、文章全体の構成を共有する。</p> <p>②序論で示された問いを確認する。</p> <p>③序論で確認した四つの問いと、それに対する答えの根拠として挙げられている事実を読み取る。</p> <p>④まとめ・振り返り</p>	○		<p>○説明的文章の構成について理解し、序論部分から4つの問いを探し出そうとしている。</p>	<p>行動観察 ワークシート</p>	<p>「基礎・基本」の力</p>
<p>①文章の構成（序論・本論・結論の境界線）を再確認する。</p> <p>②前時の学習（序論で示された4つの問い）を確認する。</p> <p>③問いに対する答えとその根拠を、本論部分から読み取りまとめる。</p> <p>④個人思考→班で交流→全体で共有</p> <p>⑤まとめ・振り返り</p>	○	◎	<p>○4つの問いに対する答えと、その根拠を探し出してまとめている。</p> <p>◎自分の意見を他の人に、伝えようとしている。</p>	<p>行動観察 ノート</p>	<p>「基礎・基本」の力 思考力・表現力・対応力</p>
<p>○整理・分析（1時間） 本時</p> <p>①筆者の意見（「地球の未来」＝「飢餓地獄」）を確認。</p> <p>②イースター島や地球が「飢餓地獄」に至るまでの経緯を読み取る。</p>	○	◎	<p>○筆者の意見（主張）がどのような根拠によって支えられているかを理解している。</p> <p>◎イースター島の出来事を間近で見てきたであろうモアイの視点で文章（人類への警告文等）を作成することがで</p>	<p>行動観察 ワークシート</p>	<p>「基礎・基本」の力 思考力・表現力・対応力</p>

<p>③イースター島での出来事（事実）を踏まえて、人類が「飢餓地獄」を回避する方法を考える。</p> <p>④まとめ・振り返り</p>				<p>きている。</p>		
<p>○まとめ・創造・表現（1時間）</p> <p>①筆者の主張を再確認する。</p> <p>②筆者の主張に対する自分の思いを書き出す。</p> <p>③マッピングなどを使って思考を整理する。</p> <p>④自分の意見に対する最適な根拠（事実）や論理の展開を吟味する。</p>	○	◎	○	<p>○自分の知識や体験と重ね、筆者の主張に対する自分の考えを広げようとしている。</p> <p>◎思考ツール（マッピング）などを活用しながら、自分の考えを吟味・整理しようとしている。</p>	<p>行動観察 ワーク シート</p>	<p>「基礎・基本」の力 思考力・表現力・対応力 高い志とチャレンジ精神</p>
<p>○実行・ふり返り（1時間）</p> <p>①自分の意見を、根拠を示しながら文章としてまとめる。</p> <p>②文章を発表し合い、互いに評価する。</p> <p>③まとめ・振り返り</p>	○	◎	○	<p>○粘り強く論理の展開について考え、学習の見通しをもって筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめようとしている。</p> <p>◎筆者の論理の展開を吟味したように、互いの文章の論理の展開を吟味しようとしている。</p>	<p>行動観察 ワーク シート</p>	<p>「基礎・基本」の力 思考力・表現力・対応力 高い志とチャレンジ精神</p>

8 本単元において育成しようとする資質・能力について

- 「基礎・基本」の力
- 思考力・表現力・対応力
- 高い志とチャレンジ精神

9 本時の展開

(1)本時の目標

イースター島での出来事（事実）と地球環境の現状を比較する文章の構成の工夫を読み取ることを通して、「地球の未来（人類の生き延びる道）」について筆者の主張とその根拠をまとめることができる。

(2)本時の評価規準

- 筆者の意見（主張）がどのような根拠によって支えられているかを理解し、文章中の言葉を用いて説明することができる。
- ◎イースター島の出来事を間近で見てきたであろうモアイの視点で文章（人類への警告文等）を作成することができる。

(3)本時の準備物

ワークシート,タブレット

(4)本時の学習過程

学 習 活 動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て)	評価規準〔観点〕 ★資質・能力 (評価方法)
1 前時までの学習を振り返る [3分]		
○筆者の最終的な主張が、「地球の未来」に関することを確認する。	◇題名の副題や、キーセンテンス (125 頁 1～3 行目,128 頁 17 行目など),最終段落 (129 頁 10 行目～) に着目させる。	
2 ねらいを確認する [1分]		
○本時のめあてを確認する。	めあて：結論部分から筆者の主張とその根拠を読み取ることができる。	
3 課題意識をもつ [3分]		
○筆者が思い描く「地球の未来」について確認する。	◇「地球の未来」には、イースター島が経験したような「飢餓地獄」が待っているとモアイ (筆者) が警告していることに気付かせる。	★【基礎・基本の力】 (ワークシート・ 行動観察)
4 本時のミッションを設定 (確認) する [2分]		
○ミッションを知り, 本時の学習の流れを理解する。	◇イースター島の歴史から学び, 人類が「飢餓地獄」から生き延びる道を考える。	★【高い志とチャレンジ精神】 (ワークシート・ 発言・行動観察)
	◇①「イースター島の歴史」(125 頁 6 行目～128 頁 16 行目) から読み取るグループと, ②「地球の現・未来」(128 頁 17 行目～129 頁 17 行目) から読み取るグループに分ける。	
5 情報を整理・分析し, 問題解決をする [30分]		
○「飢餓地獄」に至るまでの経緯 (流れ) を読み取る。 (個人思考→班)	◇①のグループは, イースター島で起きた出来事 (事実) について, ②のグループは「地球の現状と, これから起こるであろう未来の姿 (予測)」について読み取らせる。 ◆「地理的条件」「人口」「森林 (資源)」「食料不足」などがどのように繋がって「飢餓地獄」に至るのかを,ナンバリングしたり, 矢印 (→) などを使って図に表したりすることを提案する。 ◇個人思考のあと, タブレット (ジャムボードなど) を活用して思考を整理させる。	★【基礎・基本の力】 文章中から必要な情報を読み取ることができる。 (ワークシート・ 行動観察)
○「飢餓地獄」を回避する方法を考え, 条件に合わせた	◇「飢餓地獄 (文明の崩壊)」を回避するための“運命の分かれ道 (分岐点)” はどこなのかを吟味し	☆【思考力・表現力・ 対応力】

<p>文章を作成する。 (個人思考→班)</p>	<p>たうえで、具体的な方策について考える。 ◇イースター島で「飢餓地獄(文明の崩壊)」を経験したモアイによる人類への警告・呼びかけの形(セリフ調)でまとめさせる。 ◇「飢餓地獄」に繋がるであろう「地球の未来・現状」が、かつての「イースター島での出来事」と共通することに気付かせる。 ◆1人では文章の作成が難しい生徒も、班で交流する中で、書き方や考え方のヒントを得ることができるようにする。</p>	<p>イースター島の出来事を間近で見えてきたであろうモアイの視点で文章(人類への警告文等)を作成することができている。 (ワークシート・発言や話し合いの様子・行動観察)</p>
------------------------------	---	--

5 学習のまとめをする [8分]

<p>○各グループでの話し合いによってどのような意見が出てきたかを代表者が発表する。【全体で共有】</p>	<p>【例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モアイは語る「人類よ、森を破壊するな！」と。イースター島はかつて、ヤシの森を消滅させてしまったことで、豊かな表層土壌が流出してしまい食料を育てられなくなった。また、木がなくなると船が造れないため、魚を捕ることもできなくなった。森を守ることは、食料危機を回避することにつながるのだ。(B) ・モアイは語る。「人類よ、これ以上人口を増やすな！」我々の見てきた急激な人口増加に比べ、現在は、異常な人口爆発が起きている。このまま人口が増えれば、すべての人が満足できる十分な食料を生産することが難しくなる。<u>そうすると、食料を手に入れるための抗争や戦争が起こってしまい、人類が滅びてしまうぞ。</u>(A) 	<p>★【思考力・表現力・対応力】 (発言・話し合いの様子・行動観察)</p>
<p>○本時のまとめをする。 (個人)</p>	<p>◇グループでの話し合いや、代表者の発表の際に出てきた意見を踏まえて、文章を推敲させる。</p>	

6 本時のふり返しをして、次時につなげる [3分]

<p>○本時の振り返りをする。</p>	<p>【例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モアイのセリフの形で文章を作成することで、題名の「(モアイは)語る」の意味を理解できた。 ・イースター島で起こった出来事は、現在の地球上の出来事と多くの共通点があることが分かった。 ・イースター島での出来事の中で、飢餓地獄や文明の崩壊を回避することができる方法は、一つではないと気付いた。 	<p>★高い志と チャレンジ精神 (ワークシート)</p>
---------------------	--	---------------------------------------

○次時の見通しを持つ。

◇次時は、地球の未来が飢餓地獄にならないために、
私たち人類に必要な取り組みについて意見文を
書くことを告げ、学習の見通しを持たせる。

(5)板書計画

「モアイは語る―地球の未来―」

めあて

結論部分から筆者の主張とその根拠を読み取る
ことができる。

◎結論(16~20)...筆者の主張

↓地球の未来

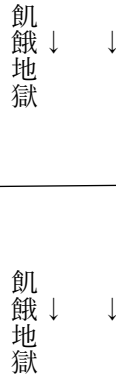
= 飢餓地獄

ミッション

人類よ、「飢餓地獄」を回避せよ!(by モアイ)

◎「飢餓地獄」に至るまで

イースター島 地球の未来



☆「飢餓地獄」回避のために

・モアイは語る。「人類よ、
!」:

まとめ

◎モアイは語る「人類よ、森を破壊するな!」
と。イースター島はかつて、ヤシの森を消滅さ
せてしまったことで、豊かな表層土壌が流出し
てしまい、食料を育てられなくなった。また、木
がなくなると船が造れないため、魚を捕ること
もできなくなった。森を守ることが、食料危機
を回避することにつながるのだ。